

偽造キャッシュカードによる
犯罪



知らないうちに
カードのデータが
盗まれているかもよ!

「偽造キャッシュカードによる犯罪とは？」

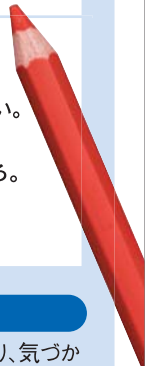
キャッシュカードの磁気データを盗み読み、カードを偽造して預金を引き出す犯罪です。

更衣室のロッカーに財布を入れるなど、キャッシュカードが手元から離れたときを狙って、カード読み取り機で磁気データを盗み、盗んだ磁気データをもとにカードを偽造します。さらに暗証番号を盗み、偽造キャッシュカードで預金を引き出します。

偽造キャッシュカードによる犯罪
チェックリスト

これは絶対にダメ!

- 暗証番号を忘れないようキャッシュカードに書き込んだりメモを持ち歩いたりしている。
- キャッシュカードを作ってから、暗証番号を変更していない。
- キャッシュカードの暗証番号を他のカードやロッカー、携帯電話等の暗証番号としても使っている。
- ATMコーナーにあった別のカード読み取り機にキャッシュカードを通した。



手口1: カードは盗まず、磁気データを盗む。

キャッシュカードを手元から離れたスキに、磁気データを読み取り、気づかれないようにカードはもとに戻す。盗んだ磁気データでカードを偽造する。

手口2: カード読み取り機を設置。

ATM周りに「防犯のためこの機械にカードを通してください」などの貼り紙とカード読み取り機を設置し、磁気データを盗んでキャッシュカードを偽造する。

手口3: 暗証番号の入手。

生年月日や住所、電話番号、車のナンバーなどから推測したり、銀行員や警察官を装って暗証番号を聞きだしたり、ATM利用時背後からのぞき見たりすることで暗証番号を入手。偽造したカードで預金を引き出す。

被害状況

■偽造キャッシュカードによる預金引出し件数と金額

時期	件数	金額	時期	件数	金額
平成13年度	1	1,900万円	平成16年度	441	9億8,800万円
平成14年度	4	1,600万円	平成17年度	634	7億8,500万円
平成15年度	111	3億300万円	平成18年4月~6月	97	6,500万円

<全国銀行協会による調査結果より(調査対象:全銀協正会員・準会員184行)>

マギー's アドバイス

偽造キャッシュカードによる犯罪から身を守るポイント



その1 キャッシュカードは盗まれていなくても、磁気データだけ盗まれていることもあるからね。誰かにカードを預けたり、目の届かないところに置いてちゃダメよ。

その2 ATMに暗証番号を盗撮する小型カメラやニセのカード挿入口がないか確認してね。ATMコーナー入口にカード読み取り機が取り付けられていることもあるから注意してね。

その3 銀行のいろんなセキュリティサービスを活用すると安心よ。偽造しにくいICカード、他の人が使えない生体認証、カードを使うとメールでお知らせしてくれるサービスなどね。